

平成24年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立西浜中学校
作成日	平成25年2月14日

1 教育目標

「創造力に富んだ心豊かでたくましい生徒の育成」「自ら学び、ともに生きる」

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標	浜友会を中心に、共育コミュニティ事業を推進しており、目標は適切である。	目標は適切である。	目標は適切である。

取組の状況に対する意見	水軒浜の松の植栽活動、サマーフェスティバル、文化祭、吹奏楽コンサートなど地域とともに積極的に活動できている。	生徒会を中心にした取り組みや、水軒浜の松の植栽活動・職場体験等市民性を育てる活動はよく頑張っているのではないかな。	全体的によいと思われる
(評価結果)に 取組の成果と課題 に対する意見	学校行事以外でも各種ボランティア活動への積極的な活動を期待したい。 5年間にわたって取り組んできた「水軒浜の松の植樹事業」がくぎりを迎えましたが、除草作業等の管理作業や、他の地域への活動場所の拡大や地域防災の取り組みなど、検討していく必要がある。	生徒会・浜友会のあいさつ運動も定着し元気に挨拶してくれるようになってきた。 教職員と生徒及び生徒相互のコミュニケーションを活発にすることで、孤立する生徒や悩みを抱え込んでしまう生徒がないように、日常の活動の中で意識して取り組んでほしい。	引きつづき、不登校傾向にある生徒に対する対応・対策の充実を考えていく。 様々な生徒に対する個別対応について、限られた教員数ではありますが、今後とも粘り強くお願いしたい。
改善方法 次年度に向けての に対する意見	今年度、3学期制へと移行するなかで、限られた活動時間を有効に使って、それぞれの学年に見合ったものを、系統だてて進めていけるように、全体像を描いていく必要がある。	生徒会のスローガンである「笑顔いっぱい、優しさいっぱい、楽しさいっぱいの西中に」を、全校生徒のなかに根付かせていく場をいかに多く持つようにしていくかを考えていくことを望んでいる。	基礎的な学力が十分身につけていない生徒に対する日頃からの声かけや補足的な学習のさらなる充実を進めていく必要がある。

4 其他のご意見

3学期制への移行のなかで、従来のように、長期休業の前に評価が出されるようになった。そして、それに基づいて、学力的な面と学校生活に関わる部分を合わせて懇談会で話し合える機会を持てるようになり、夏季及び冬季休業の過ごし方等について、具体的に話し合えるようになったことはよかったのではないかな。
部活動について、外部指導も含めて充実をお願いしたい。